



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム
コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 仁田 英策

TEL 06-6360-0306

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	24,720	9.9	1,712	△16.2	1,686	△15.8	773	△31.2
26年12月期第3四半期	22,488	16.5	2,042	34.0	2,004	34.4	1,125	35.7

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 771百万円 (△32.9%) 26年12月期第3四半期 1,150百万円 (35.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	78.95	70.34
26年12月期第3四半期	115.39	102.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	19,508	6,603	33.7	671.41
26年12月期	18,012	6,117	33.8	622.35

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 6,582百万円 26年12月期 6,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,760	10.7	2,815	3.6	2,745	2.8	1,450	3.1	148.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	9,803,400 株	26年12月期	9,793,200 株
27年12月期3Q	— 株	26年12月期	— 株
27年12月期3Q	9,796,979 株	26年12月期3Q	9,749,922 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善、雇用・所得環境の改善傾向、訪日客によるインバウンドの効果や個人消費に底堅い動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で円安による輸入価格の上昇、中国経済の減速懸念などの海外景気の下振れ懸念等から先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、円安の影響による原材料価格の高騰、パート・アルバイトの人員不足や人件費の上昇など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第3四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、並びに販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「つるまる」をはじめとする全ブランドの業績改善に全社一丸となって取り組むと同時に、不採算店舗の撤退を行いました。

さらには、大阪労働局及び京都労働局により指摘を受けました労働基準法違反につき、当社はすべての店舗の社員及び過去に勤務実態のある元社員を対象(対象期間：平成25年7月～平成27年6月 対象人数：676名)として、未払いとなっている可能性のある残業時間に関して調査中ではありますが、既に一定基準による算出額2億67百万円を一時金として自主的に支払いを行い、当第2四半期連結累計期間に計上するとともに、速やかに開示いたしました。

現在、法令のみならず将来の法令等の改正にも適宜対応できるように万全のコンプライアンス体制の構築及び再発防止に不退転の決意で取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高247億20百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益17億12百万円(前年同期比16.2%減)、経常利益16億86百万円(前年同期比15.8%減)と増収減益となりました。一方、減損損失等の特別損失2億91百万円を計上したため、四半期純利益は7億73百万円(前年同期比31.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<直営事業>

直営事業につきましては、国内及び海外において「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心に全ブランドの既存店業績の維持・向上のための営業努力の結果、既存店売上前年比を49か月連続で100%超で達成することができ、上場している外食企業として国内最長記録の更新をいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間中の新規出店は34店舗、直営事業全体の売上高は234億96百万円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は24億49百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

<FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例・問題点の共有を進めることにより更なる集客力の向上を図っております。

今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業全体の売上高は12億23百万円(前年同期比3.5%増)、セグメント利益は8億33百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

当社グループの平成27年9月末時点の店舗数は744店舗(直営店(国内)406店舗、直営店(海外)7店舗、FC店(国内)330店舗、FC店(海外)1店舗)となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	139	6	300	—	445
神楽食堂 串家物語	80	—	12	—	92
手作り居酒屋 かつぼうぎ	40	—	13	—	53
浪花麺乃庄 つるまる	47	—	4	1	52
その他	100	1	1	—	102
合計	406	7	330	1	744

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は14億95百万円増加し、195億8百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から4億97百万円減少し、固定資産は20億円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、新規出店による有形固定資産の取得に伴う現金及び預金の減少2億56百万円及び預け金の減少2億18百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は、新本社研修センター建築等による有形固定資産の増加19億8百万円、敷金及び保証金の増加1億44百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して10億9百万円増加し、129億4百万円となりました。これは主に新本社研修センター建築及び新規出店に伴う借入金の増加20億47百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して4億86百万円増加し、66億3百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上7億73百万円に対し、配当金の支払による支出が2億93百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の通期の業績予測につきましては、平成26年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,610,335	2,354,293
売掛金	271,742	238,291
たな卸資産	209,707	182,684
前払費用	231,912	273,266
繰延税金資産	94,522	94,522
預け金	1,012,646	793,700
その他	180,714	177,287
貸倒引当金	△237	△181
流動資産合計	4,611,344	4,113,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,118,575	12,194,728
減価償却累計額	△4,042,366	△4,497,552
減損損失累計額	△317,849	△415,294
建物及び構築物(純額)	5,758,359	7,281,880
工具、器具及び備品	3,947,992	4,505,392
減価償却累計額	△2,622,906	△2,939,006
減損損失累計額	△39,602	△61,572
工具、器具及び備品(純額)	1,285,483	1,504,813
土地	359,490	950,736
建設仮勘定	949,751	542,279
その他	260,363	260,363
減価償却累計額	△206,627	△224,547
その他(純額)	53,736	35,816
有形固定資産合計	8,406,820	10,315,526
無形固定資産	59,318	63,913
投資その他の資産		
投資有価証券	236,061	235,428
関係会社株式	577,718	514,945
繰延税金資産	252,740	251,782
敷金及び保証金	3,681,676	3,826,335
その他	228,347	229,052
貸倒引当金	△55,901	△50,179
投資その他の資産合計	4,920,643	5,007,365
固定資産合計	13,386,782	15,386,805
繰延資産	14,629	7,460
資産合計	18,012,756	19,508,130

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,222,151	1,173,001
未払費用	414,657	425,402
未払金	1,152,088	1,150,954
未払法人税等	530,799	250,967
未払消費税等	339,976	134,187
1年内返済予定の長期借入金	1,595,862	1,968,725
1年内償還予定の社債	470,000	230,000
賞与引当金	41,729	24,320
株主優待引当金	32,925	24,510
資産除去債務	37,715	4,342
その他	109,089	92,173
流動負債合計	5,946,995	5,478,585
固定負債		
社債	1,289,999	1,059,999
長期借入金	3,518,551	5,193,625
リース債務	35,664	15,033
資産除去債務	765,285	845,562
預り保証金	309,017	295,252
繰延税金負債	9,580	14,359
その他	20,425	2,301
固定負債合計	5,948,524	7,426,134
負債合計	11,895,520	12,904,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,875	1,486,810
資本剰余金	1,361,621	1,366,556
利益剰余金	3,234,060	3,713,763
自己株式	△91	△91
株主資本合計	6,077,465	6,567,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,847	△23,390
為替換算調整勘定	39,200	38,465
その他の包括利益累計額合計	17,352	15,075
新株予約権	11,399	9,923
少数株主持分	11,018	11,372
純資産合計	6,117,236	6,603,410
負債純資産合計	18,012,756	19,508,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	22,488,464	24,720,433
売上原価	7,480,380	8,285,523
売上総利益	15,008,084	16,434,910
販売費及び一般管理費	12,965,099	14,721,915
営業利益	2,042,985	1,712,995
営業外収益		
受取利息	3,173	3,823
受取家賃	65,724	31,466
持分法による投資利益	2,075	9,566
その他	50,337	33,880
営業外収益合計	121,310	78,737
営業外費用		
支払利息	44,100	45,142
社債利息	11,403	5,497
賃貸収入原価	70,284	25,910
その他	34,456	28,631
営業外費用合計	160,244	105,181
経常利益	2,004,050	1,686,550
特別利益		
受取立退料	2,875	—
受取保険金	1,492	36,175
その他	323	4,986
特別利益合計	4,690	41,162
特別損失		
店舗解約損	11,272	15,779
固定資産除却損	36,462	58,892
減損損失	53,825	214,132
その他	—	2,300
特別損失合計	101,560	291,103
税金等調整前四半期純利益	1,907,181	1,436,609
法人税等	781,722	662,686
少数株主損益調整前四半期純利益	1,125,459	773,923
少数株主利益	450	425
四半期純利益	1,125,009	773,497

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,125,459	773,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,885	△1,542
為替換算調整勘定	10,311	△1,144
繰延ヘッジ損益	△2,958	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△181	338
その他の包括利益合計	25,055	△2,348
四半期包括利益	1,150,514	771,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,149,425	771,220
少数株主に係る四半期包括利益	1,089	354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,306,018	1,182,446	22,488,464	—	22,488,464
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	21,306,018	1,182,446	22,488,464	—	22,488,464
セグメント利益	2,662,388	783,065	3,445,454	△1,402,469	2,042,985

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,402,469千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては53,825千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,496,871	1,223,562	24,720,433	—	24,720,433
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	23,496,871	1,223,562	24,720,433	—	24,720,433
セグメント利益	2,449,756	833,144	3,282,901	△1,569,906	1,712,995

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,569,906千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては214,132千円であります。